

# 美川仏壇の

## 技

## 全国で

美川仏壇の製造販売業者でつくる「美川佛壇協同組合」（白山市）は8日までに、漆や金箔を扱う寺社仏閣などの修復工事が増えたことを受け、加盟8店が協力して工事を担うことを決めた。仕事を分け合うことで本業の仏壇製造を滞らせない利点があり、関係者は「組合員が結束し、全国で美川伝統の技を生かしたい」としている。

## 受注増で加盟店連携

同組合によると、近年は寺社仏閣の内装や文化財修復などの依頼が全国から舞い込む。仏壇製造で培った精緻な手仕事

文化財関係者に伝わったためとみられる。加盟店の北島仏壇店は1995（平成7）年に都内の寺院修復を手掛けて以来、県外の寺社計7カ所に職人を派遣した。加盟店はこれまで個別に仕事を請け負ってきたが、職人が限られる事情から仏壇製造に影響が及ぶのが悩みとなり、修復工事を断るケースも出てきた。

このため、同組合は「組合全体で修復を請け負う形」を探ることにし、昨年注文があった「小木とも旗祭り（能登町）の神輿修復で、全加盟店による作業を試行した。今年6月4日の組合役員会で

## 寺社仏閣の修復工事

美川仏壇 室町時代後期に初めて造られ、江戸時代の名工漆屋村次郎が漆の生地に立体的な文様を施す堆黒（ついく）技法を確立し、名が高まった。1988（昭和63）年に県伝統工芸品に指定された。



美川仏壇伝統の技を生かし、金箔を張る職人

白山市美川北町の仏壇店

## 癒やしのブナ林

登山スクールの北陸の里山を歩く「ブナ林に癒やされる 鈴ヶ岳」は8日、小松市の鈴ヶ岳で行われ、13人が山頂からの絶景を楽しんだ。

参加者は県山岳協会指導員の案内で、標高1174・74の頂上を目指した。さわやかな木々のにおいを感じながらスギやブナが茂る沢伝いの登山道を歩き、頂上では雲の切れ間から小松市街を一望した。道中では見ごろを迎えたガクアジサイの紫の花が参加者の目を楽しませた。



登山スクールは8月1日から2泊3日の日程で、「高山植物20種を覚えよう」はじめての白山

医学や工学で共同研究機構  
金大・金子教授

金大の金子周一郎教授らは医学や工学などの分野で国内の一流研究者と連携し、同研究機構「アグロメディアカル・イノベーション」を設立する。各分野の最先端を品に連携させ、病気の予防と健康長寿の実現を目指すという。

金子教授は機構の理事幹事、田中隆治は理事は幹事を務める。16日に東京・三田足記念シンポジウムなどが開催される。

金山、一林さ

防犯貢献感謝

中部管区警察

中部管区警察局長、地域の防犯、交